

# 静岡市立清水入江小学校



## 出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和4年6月16日(木)

### 本物に触れる体験ができ、よかったです！

静岡市立清水入江小学校の6年生118人が、縄文・弥生時代の生活について体験を通して実感を伴い、学習理解を深めることを目的に、6年部の落合先生が出前授業を計画し、発掘調査の話（職業講話）、土器の分類・石器の試し切り・火起こしの4つの体験活動を行いました。

#### 発掘調査の話(職業講話)

埋蔵文化財センターの仕事を紹介しながら、発掘調査の大変さと大切さ、入江小学校周辺の遺跡についても話しました。



「発掘するだけでもお金がかかるし、すごく大変なんだなと思った。」「学校の近くにも大切なものが埋まっているのに驚いた。」



#### 石器の試し切り体験

「今の包丁と同じくらい切れ味がよくてびっくりした。」「いつもの包丁より使いやすかった。」

はじめは、旧石器時代や縄文時代・弥生時代などの古代の話をして進めました。打製石器や磨製石器など石器の種類や、石器の役割など、詳しく説明しました。その後、黒曜石を使って、新聞紙やキャベツなどの野菜くずの切れ味を試しました。切れ味の良さに驚いていました。



#### 土器の分類体験

「縄文土器は特徴がわかり、区別しやすかったけど、弥生土器と須恵器は区別が付きにくかった。」「土器の素材が違うことがわかった。」



縄文時代から古墳時代までの簡単な時代の流れを説明した後、縄文土器・弥生土器・須恵器の完成品を見ながら、班員と協力して土器片を分類しました。土器の作り方を知ることによって、色や厚さ、形、線の入り方などの違いがわかってきて、分類に迷った土器片も分けることができました。



#### 火起こし体験

「途中力んだけど、みんなで協力してよかった。」「ラストスパートが大変だったけど、ラストスパート係がいてできた。」「最後つらくなったけど、がんばった。」「バランスをとるのが難しかった。」「昔の人はすごい。」

時折強い日差しの指す暑い陽気でしたが、雨の心配が無いので昇降口の外で火起こしを行いました。火起こしの経験を聞くと、登呂遺跡で火起こしをした子が各学級5人程いました。

はじめに舞きり法での火起こしのやり方を説明した後、デモンストレーションをしました。次に各班に分かれて火起こしです。慎重に火きり弓を押し、弾み車を回して火種を作ることができました。火種をていねいに火口の上のせ、風向きを考えて何度も息を吹きかけると火が起こりました。



#### 落合先生の感想

「発掘調査の話が少し難しかったかもしれませんが、学習進度とぴったりでした。温かな話し方で、説明が分かりやすかったです。本物にふれる体験ができてよかったです。」